

対象地域：山形県

再生課題：里山環境の保全と担い手不足の解消



いなかたいけんじゅくつのかわのさと

特定非営利活動法人田舎体験塾つのかわの里

再生
目標

里地里山の原風景を保全しながら、安全で安心な食べ物の生産を支え、農山村の自然や文化を次世代に伝える

- 事務局
NPO法人田舎体験塾つのかわの里
- 対象地域
山形県最上郡戸沢村角川地区
- 活動開始：H30. 4. 20
- 活動計画：H30. 1
(R4. 2現在)



角川地区は、最上川の支流である角川沿いに集落が点在し、四方を山に囲まれた農山村地域です。山には、ブナやナラ等の広葉樹やスギの人工林が広がっています。古くは炭焼きが盛んな地域で、広葉樹がその材料として利用されていました。また、ノウサギが多く生息していたため、狩猟をする人も多く、人々にとって自然は身近な存在でしたが、生活様式の変化に伴い、里山の利用が減少し管理が行き届かなくなったことで、荒廃が進みました。

そこで、スギ林の手入れや広葉樹の活用を行いながら、農村生活を体験し、昔ながらの知恵と技術に触れる機会をつくる活動を行っています。限りある自然資源の効率的な利用と再利用等を通じて、持続可能な発展を体験者と考えながら実際に取り組んでいます。



田植え体験

自然再生の手法

- スギ林の手入れ(間伐、除伐等)
- 森林資源の利用(バイオマス発電燃料、集成材の製造等)
- 教育旅行及び個人向けの体験型学習

ここに注目!

緑の循環システムを構築し地域活性化に結び付ける

森林資源を循環利用することで、多面的機能を維持し、地域雇用にも結び付けることを目指した「やまがた森林(もり)ノミクス」を取り入れた林業体験を行っています。また、森林資源の活用についての学習も推進し、循環を意識した学びの場を提供しています。



枝打ち作業体験